

令和元年度市政モニターアンケート

エネルギーや地球温暖化対策に関する意識調査

令和2年1月

環境局環境部環境企画課

1. 調査の概要

(1). 調査の趣旨

今日、地球温暖化は喫緊の課題となっており、地球温暖化を一因とする猛暑や豪雨等による生活への影響も深刻となっている。本市においても地球温暖化の防止に向け、市民の皆さまのご理解とご協力のもと、さまざまな取り組みを進めていく必要がある。

そこで、エネルギーや地球温暖化対策について、市民の皆さまがどのように考え取り組んでいるかなどを把握し、効果的な施策の検討資料とするために調査を行った。

(2). 調査期間 令和元年9月20日～10月4日

(3). 調査対象 市政モニター200名

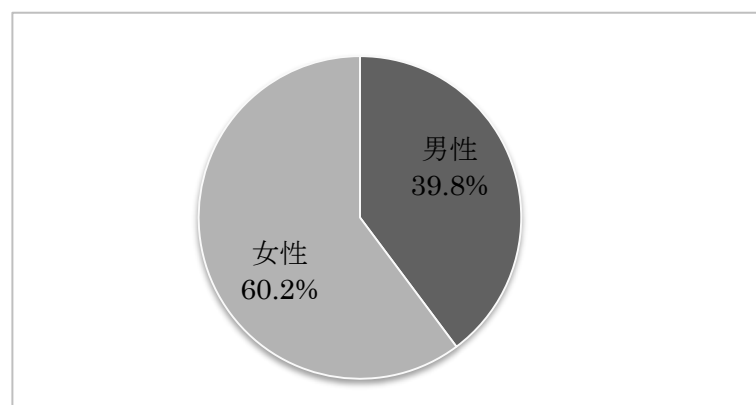
(4). 調査方法 郵送及びインターネット

(5). 回収数 191 (回収率 95.5%)

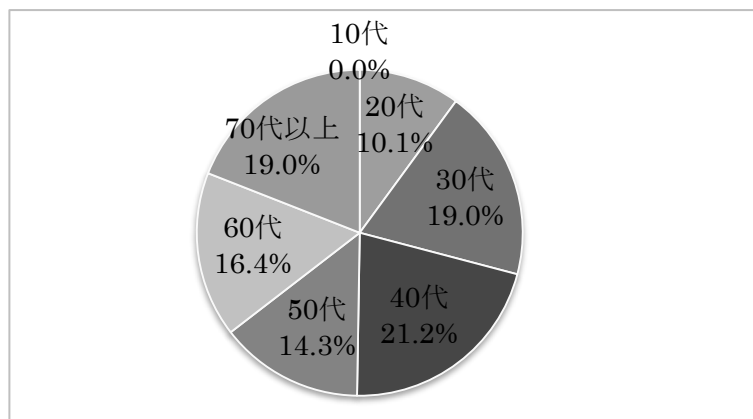
2. 調査結果

I. あなたご自身とお住まいについて

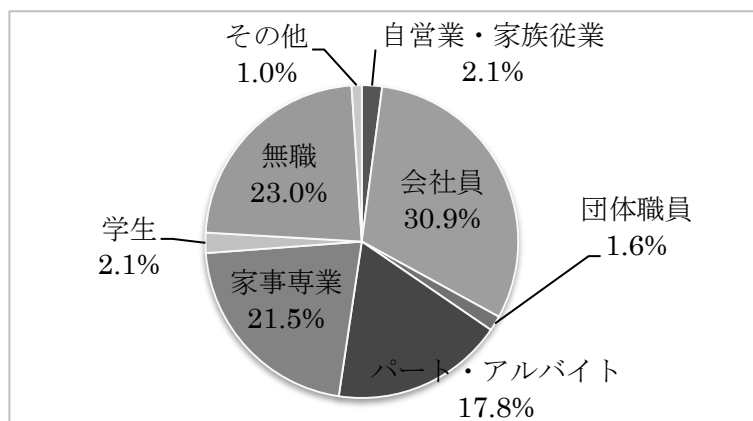
問1 性別



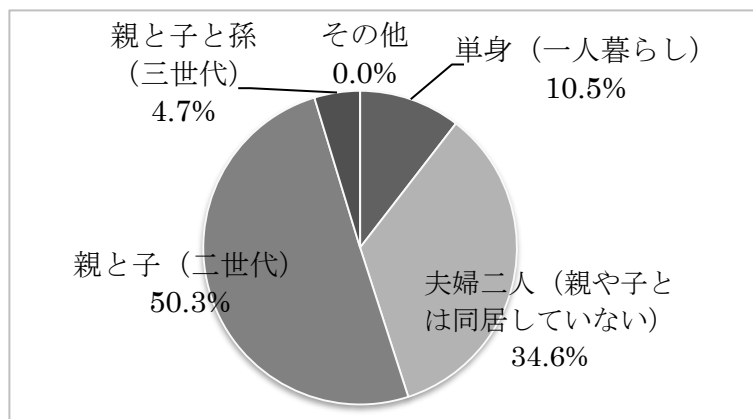
問2 年齢



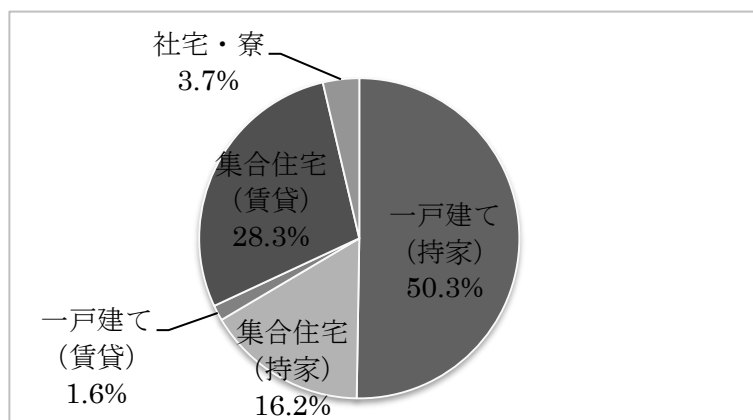
問3 職業



問4 家族形態

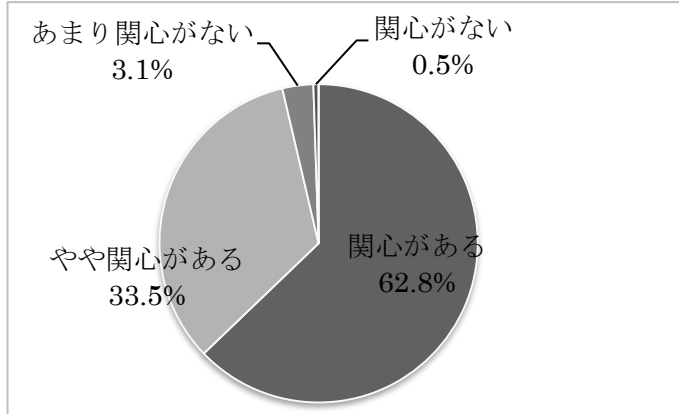


問5 居住形態



Ⅱ. 省エネルギーへの意識や取り組みについて

問6 家庭における省エネに関心がありますか。

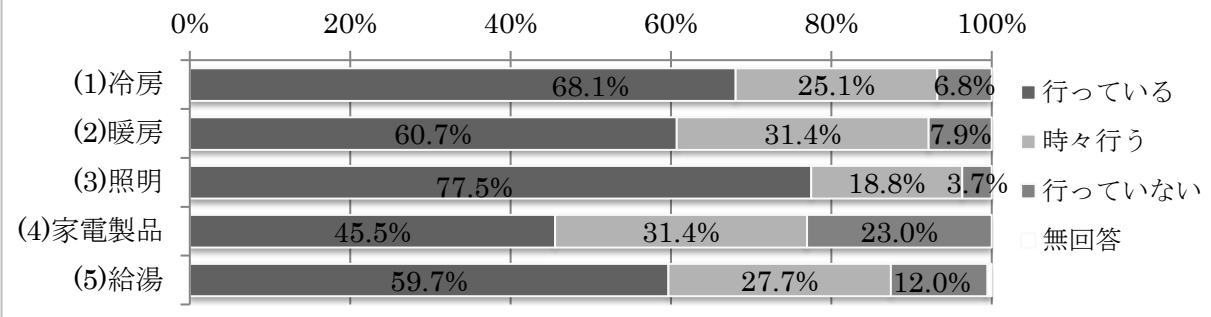


「興味がある」と「やや興味がある」の回答を合わせると 96%と高くなっています。

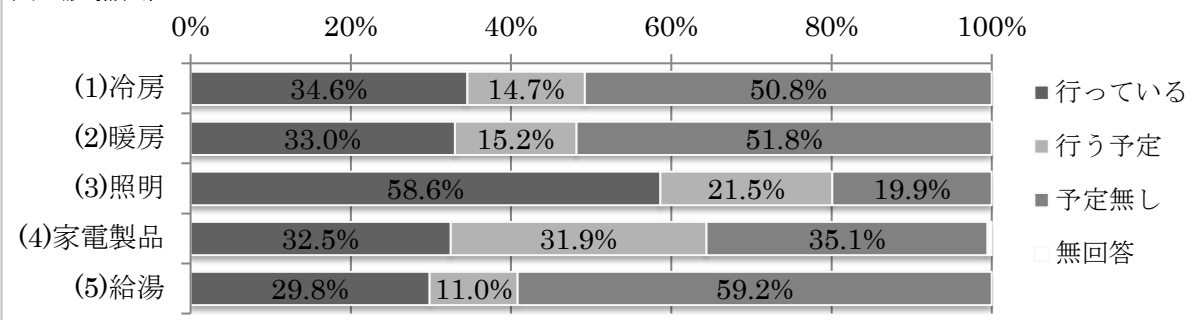
問7 家庭において、費用をあまりかけずにできる行動（ソフト）面での省エネを行っていますか。

問8 家庭において、買い替えなどの機会を捉え費用をかけて行う設備（ハード）面での省エネを行っていますか。

問7(行動面)

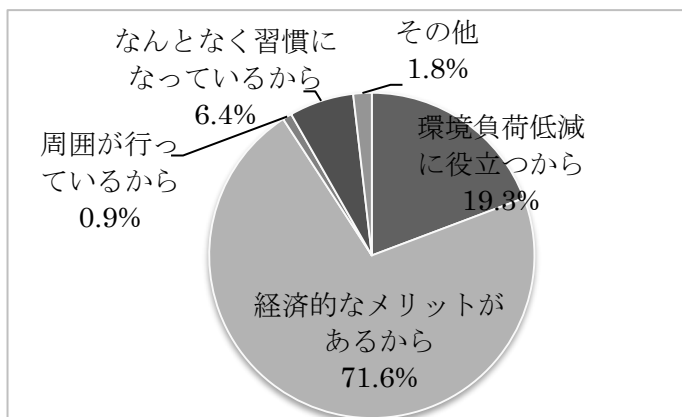


問8(設備面)



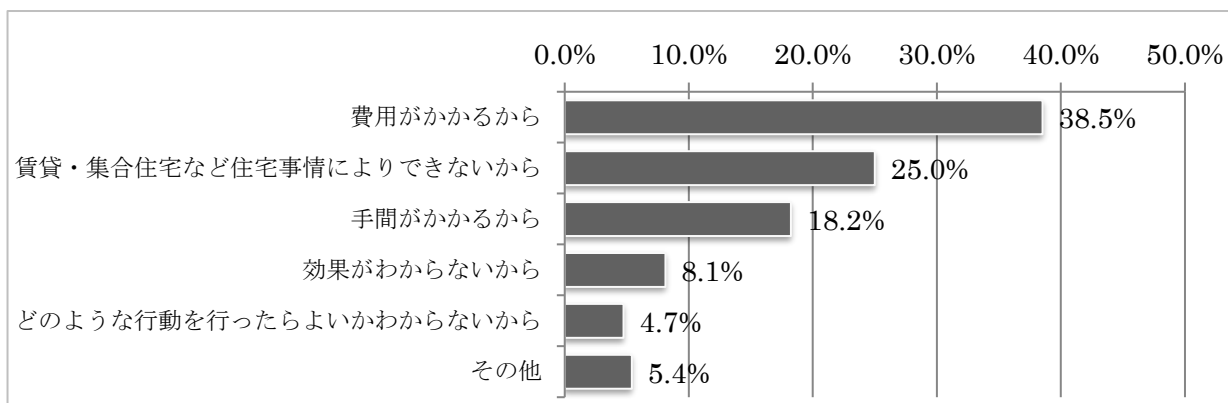
行動（ソフト）面での取り組み（問7）に比べ、設備（ハード）面での取り組み（問8）は低めの傾向にあります。行動面・設備面ともに、照明に関する取り組みが進んでいるようです。

問9 省エネに取り組む理由は何ですか。(問7の各項目で1つでも「行っている」「時々行う」、または問8の各項目で1つでも「行っている」「行う予定」と回答された方のみ)



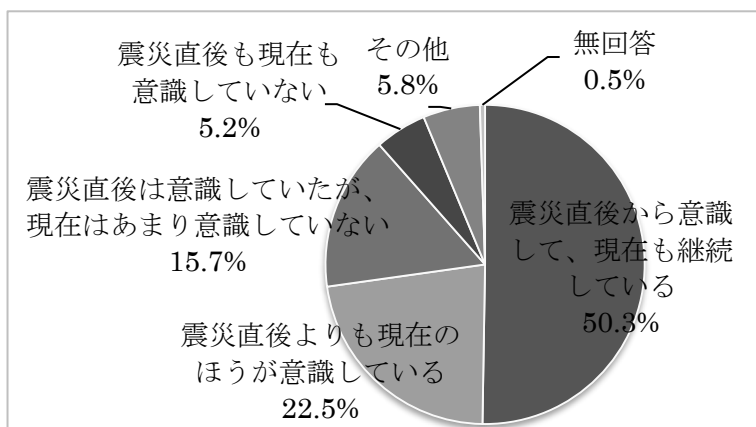
取り組む理由は「経済的なメリットがあるから」が他を大きく上回っています。

問10 省エネの取り組みを行わない理由は何ですか。2つまで。(問7の各項目で1つでも「行っていない」、または問8の各項目で1つでも「行う予定無し」と回答された方のみ)



取り組まない理由は、「費用がかかるから」が最も多く、次に「住宅事情によりできないから」という回答が多くなっています。

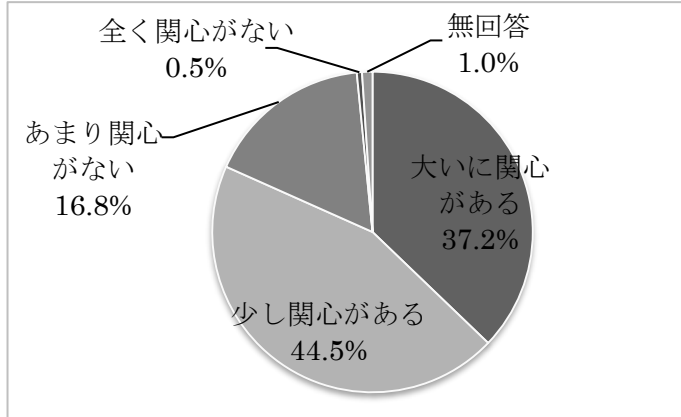
問11 東日本大震災直後と現在を比較すると、省エネについての意識は変わりましたか。



東日本大震災直後から現在まで意識している、または震災直後よりも現在のほうが意識しているを合わせると72%でした。

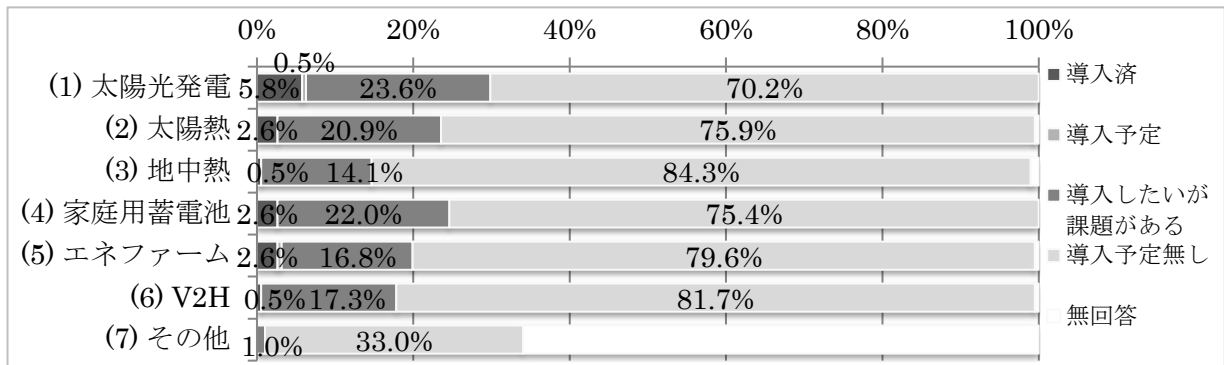
Ⅲ. 再生可能エネルギー等（創エネ・蓄エネ等）への意識や取り組みについて

問12 再生可能エネルギー等（創エネ・蓄エネ等）に関心がありますか。



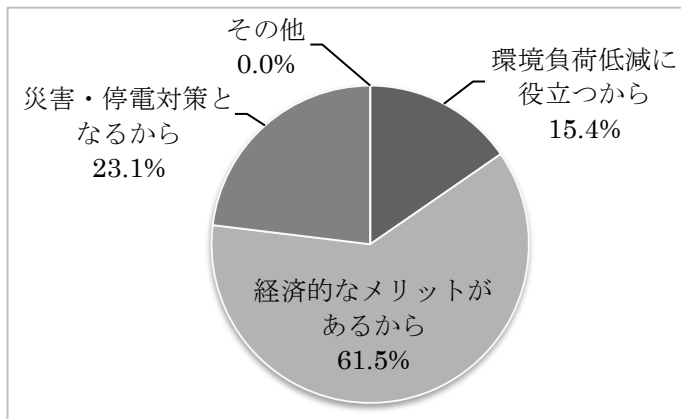
「大いに関心がある」と「少し関心がある」を合わせると 81%と、多くの方が関心をお持ちですが、省エネ（問 6 の 96%）に比べるとやや低いようです。

問13 自宅で再生可能エネルギー等（創エネ・蓄エネ等）を導入していますか。



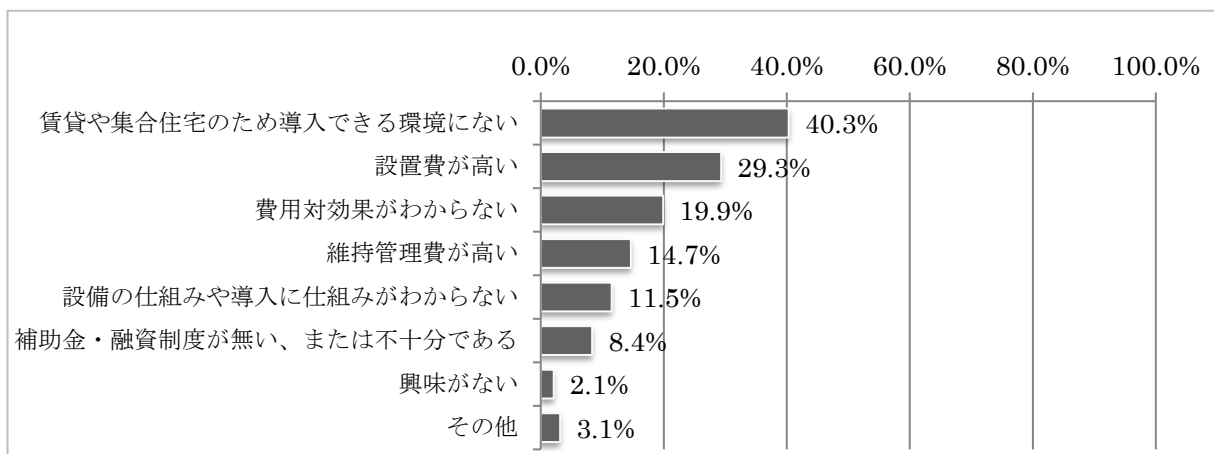
自宅への導入状況は、(1) 太陽光発電 5.8%、(2) 太陽熱、(4) 家庭用蓄電池、(5) エネファーム 2.6% の順であり、太陽光発電の割合が高くなっています。

問14 再生可能エネルギー等導入の理由は何ですか。（問 13 の各項目で 1 つでも「導入済」「導入予定」と回答された方のみ）



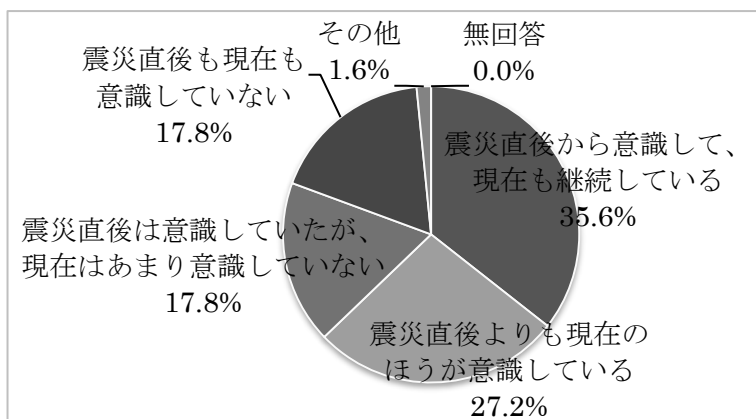
取り組む理由は「経済的なメリットがあるから」が他を大きく上回っており、省エネ（問 9）と同様の結果となりました。

問15 再生可能エネルギー等導入に至らない理由は何ですか。2つまで。(問14の各項目で1つでも「導入したいが課題がある」「導入予定無し」と回答された方のみ)



導入に至らない理由は、「導入できる環境にない」が一番多く、次いで「設置費が高い」となりました。

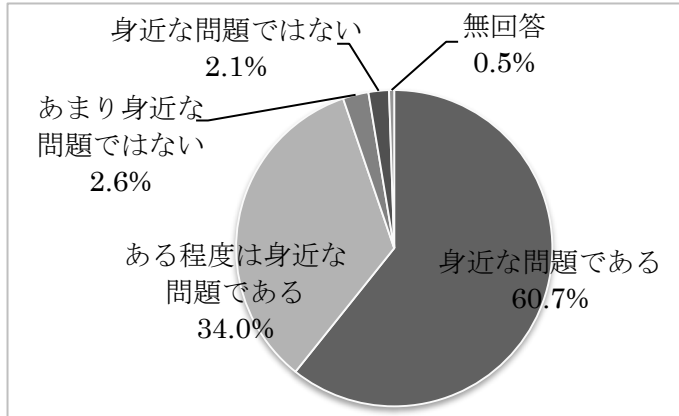
問16 東日本大震災直後と現在を比較すると、再生可能エネルギー等（創エネ・蓄エネ等）についての意識は変わりましたか。



東日本大震災直後から現在まで意識している、または震災直後よりも現在のほうが意識していると回答された方が合わせて62%ですが、省エネ（問11の72%）より低いようです。

IV. 地球温暖化に関する認識について

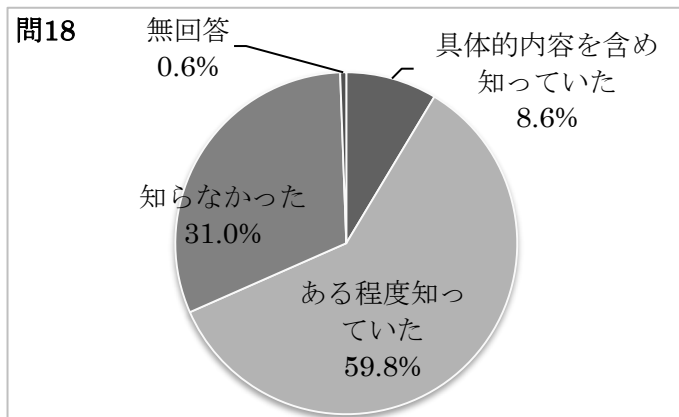
問17 あなたにとって、地球温暖化は身近な問題だと思いますか。



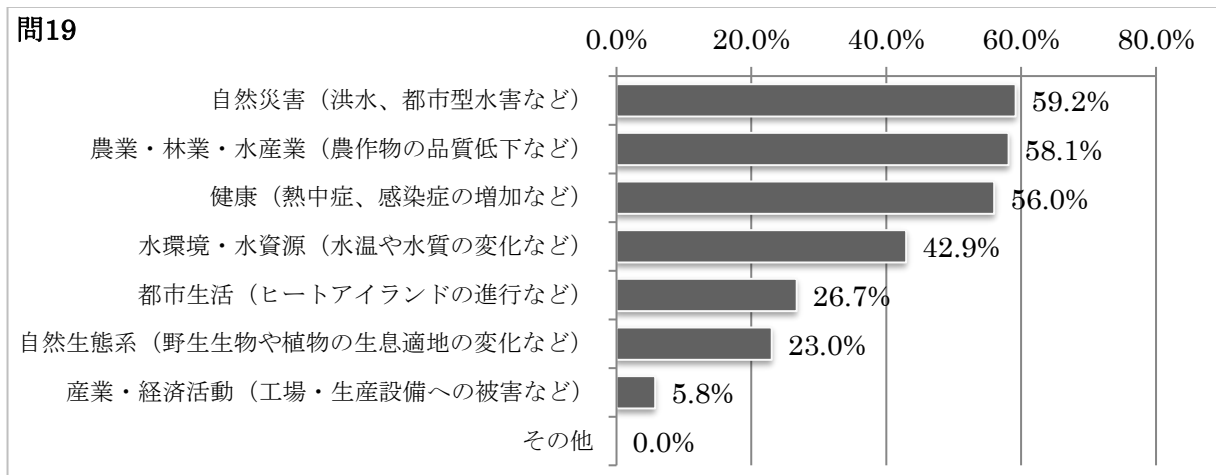
地球温暖化については、「身近な問題である」と「ある程度は身近な問題である」を合わせると、95%の方が身近な問題であると感じているようです。

問18 地球温暖化対策は、温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出量を減らすことに加え、高温に強い農作物の品種改良や熱中症対策など避けられない影響への対応（適応策）も並行して進めるべきとされていることをご存知でしたか。

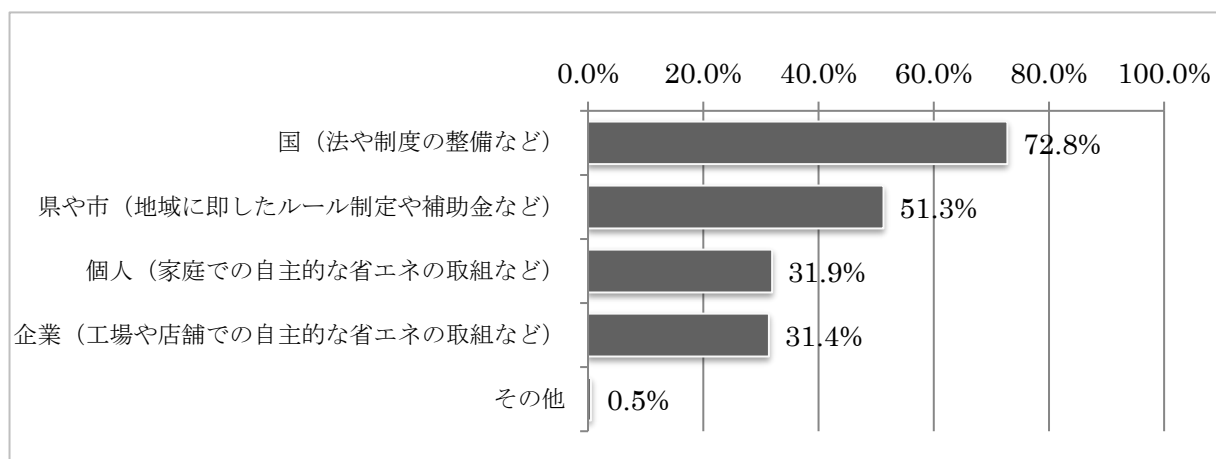
問19 地球温暖化によるさまざまな影響のうち、あなたが仙台において心配だと思うものはどれですか。3つまで。



適応策については、「具体的な内容を含め知っていた」と「ある程度知っていた」の回答が合わせて68%でした。地球温暖化による影響のうち心配な分野は、「自然災害」、「農業・林業・水産業」、「健康」の順に高い割合になりました。



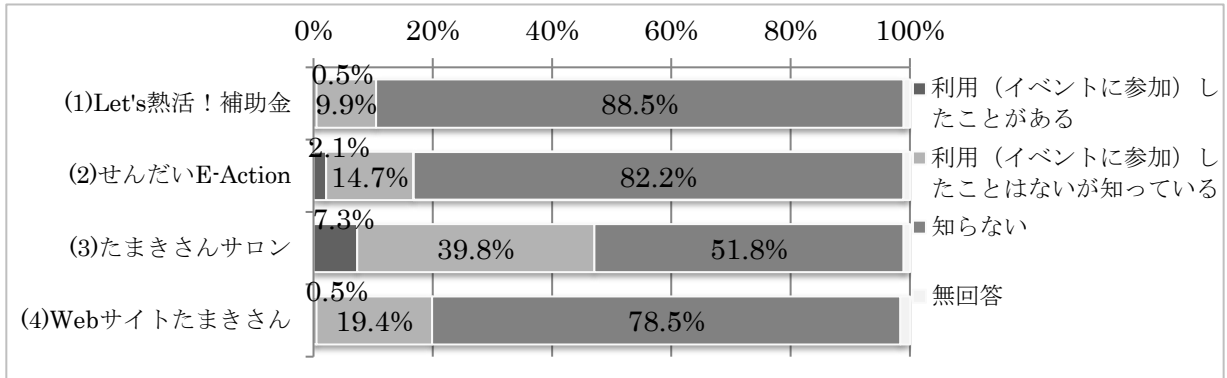
問20 地球温暖化を解決するためには、どの主体による取り組みが重要だと思いますか。2つまで。



「国」次いで「県や市」の取り組み（制度や補助金等）が上位となりました。

V. エネルギーや地球温暖化に関する情報収集等について

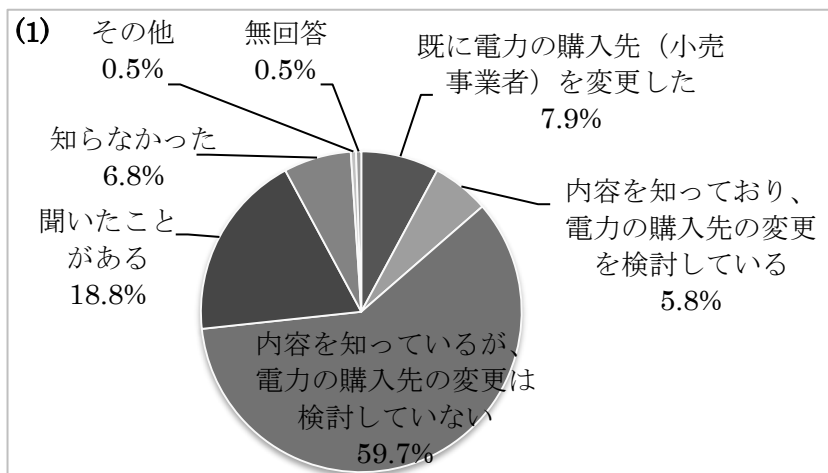
問21 以下に挙げる施策・事業等についてご存知ですか。



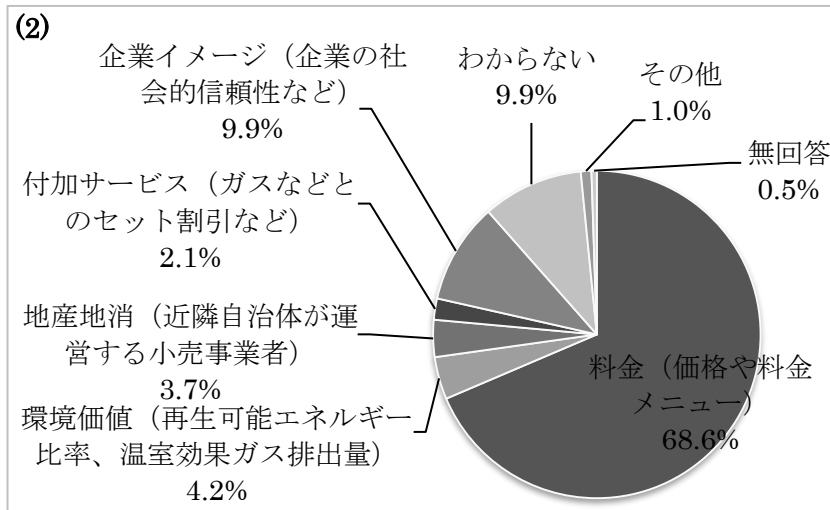
たまきさんサロンは「利用したことがある」と「知っている」を合わせると47%であり、認知されているようです。

問22(1) 「電力小売全面自由化」についてご存知でしたか。

(2) 電力の購入先を選択する際に最も重視する点は何ですか。



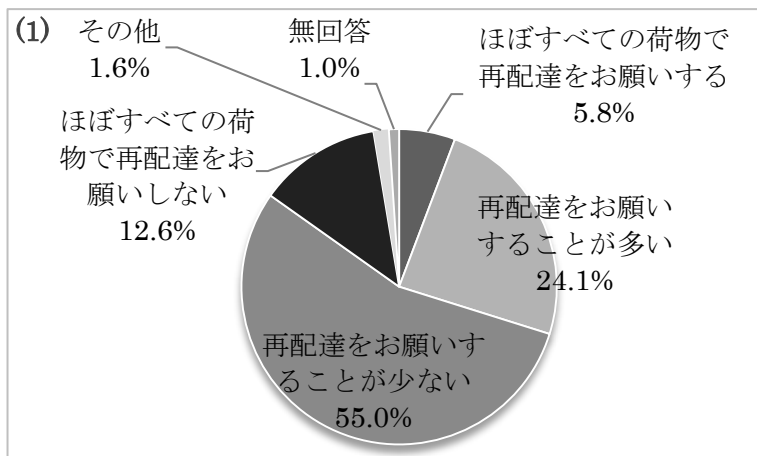
制度については、「知らなかった」と回答された方が6%であり、多くの方に制度が認知されているようです。制度を認知しているものの、電力の購入先の変更までは検討していない方が多いようです。



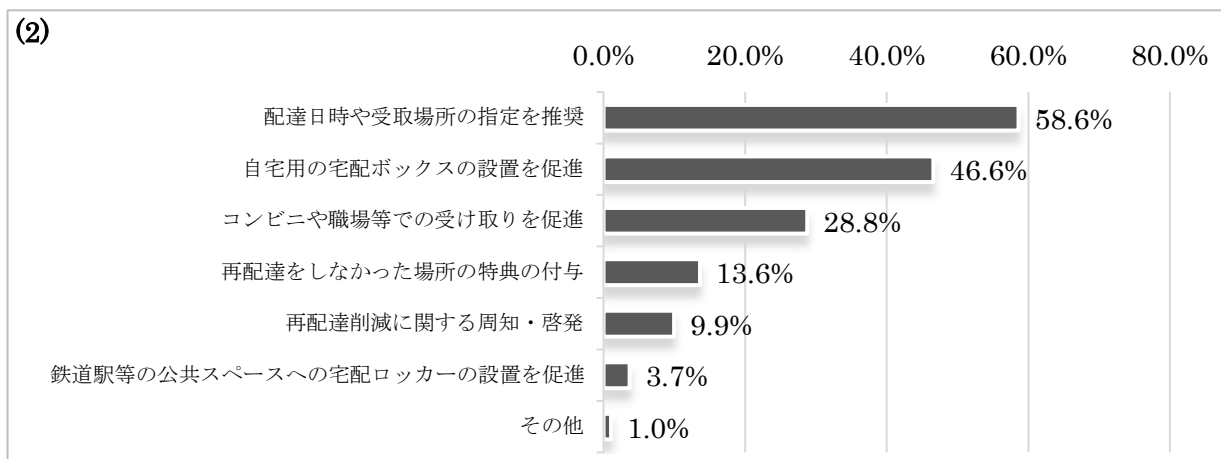
電力の購入先を選択する際の重視する点は、「料金」が68%であり、他の重視する点に比べて多くなっています。「環境価値」や「地産地消」を重視する方は少ない状況です。

問23(1) 宅配便の荷物を受け取る際にどのくらいの割合で再配達をお願いしますか。

(2) 再配達を減らすために有効だと思うものは何ですか。2つまで。



宅配便の荷物は、「ほぼすべての荷物で再配達をお願いする」と「再配達をお願いすることが多い」を合わせておよそ30%であり、1回の配達で受け取っている方の割合が高いようです。



再配達を減らすためには、「配達日時や受取場所の指定を推奨」と「自宅用の宅配ボックスの設置を促進」が有効であると考えている方が多いようです。

VI. 自由意見

問24 仙台市の省エネ・創エネ・蓄エネや地球温暖化対策関連施策・事業についてご意見等ございましたら、自由にお書きください。（一部を抜粋し要約）

- ・小中学校にエアコンを設置するのは子供たちが勉強などに集中できるので良いと思うが、地球温暖化対策と矛盾するため、日射の遮へいなどと併用して行った方が良いのではないかと。
- ・仙台は自然（環境）に恵まれているためか、私自身を含めてまわりの人たちも地球温暖化についてあまり意識してないように思われる。
- ・省エネは身近な所から実行すべきである。例えば、国の役所は昼休みの庁舎内消灯が徹底されているが、市の庁舎は徹底されていないと感じる。市は率先して行動し、省エネの手本を示すべき。
- ・自分を含め、家族で強い意識を持って省エネ等に対応していきたい。また、経済的に厳しい部分もあるが、町内会等でも話題にして積極的に周りの人間に意識をしてもらうようにしていきたい。
- ・省エネは必要ではあるが、暑い寒い我慢を強いられるのは不愉快。
- ・省エネする事は頭では理解しているが、面倒と費用面での難しさがあり中々実行出来ない。
- ・家庭でやることには限界があると思う。冷暖房の設定温度等も、電気料金を意識して行う人が多いと思う。地球温暖化対策は国が石炭火力発電を活用しているので、難しい。太陽光発電もあまりいいとは思わない。石炭火力発電がよりクリーンな発電になるか、新エネルギーが開発されることが、地球温暖化対策になるのかと思う。
- ・温泉が多いので、県と協力して、地熱発電の更なる推進をしてはどうか。
- ・夏になると、地球温暖化になっていることがわかる。昔に比べて暑い期間が長く、気温も高くなっている。冬はひざ上まで雪が積もっていたが、去年は、雪が積もって歩きにくいということがなかった。このままでは将来大変なことになりそうな危機感を感じる。
年を増すごとに、気候に様々な変化が見られ、異常気象も増えているので早々の対策や計画を練って、改善して行ってほしいと思う。
- ・地球温暖化はかなり深刻。大雨や土砂災害など昔に比べて増えている。森の伐採もやめないと動物も暮らせなくなると思う。
- ・地球温暖化に対しては県でも力を入れているが、仙台市は取組が遅れている。地球温暖化の専門窓口や駆け込み寺がない。
- ・地球温暖化に関する事はいろんな所で目にするが、毎日の生活でどのようなことに気を付けたり、実行していけばいいのかわからない。身近な所から説明してもらいたい。
- ・市民にわかりやすく伝えてほしい。
- ・仙台市でどのような取り組みを行っているのかよくわからない。
- ・市報などの市からの配布物で、毎月1つ「家庭でできる（個人ができる）対策」を取り上げるコーナーなどがあると意識する人数も増えるのではないかと。
- ・温暖化による悪影響については認識されつつあると思うが、将来を踏まえ特に若者の関心を高めるために、さらなる啓発が必要ではないかと。

- ・市としての取り組みがあまり目立たないように感じる。もっともっと PR してほしい。
- ・地球温暖化に対する私達ができる取り組みや、地球を守っていく意味を様々な場面で子供たちや大人にももっと知らせていくべき。
- ・子連れで利用する施設（スーパー、ショッピングセンター）でのイベントやポスターが効果的だと考える。
- ・再生可能エネルギーの推奨に関して国や県、市が補助金制度を実施していることについて、世間への周知が行き届いてないように感じる。個人や企業が努力して該当の制度を探すのではなく、行政が PR すれば、より普及が進むのではないかと感じる。
- ・市の取り組みを全く知らなかったなので、CMなどで周知すると市民の意識も高まるのではないか。
- ・最近では地球温暖化抑止への講座や対策をよく耳にするようになった。最終的には個人の心がけが最も重要であり、市民への啓蒙強化を期待する。
- ・子どもでも分かるような説明文や、子どもが興味を持てば、大人も一緒に理解するのではないのかなと思う。